

## ACT Japan 2019 年度・年次ミーティング プログラム

【日程】2020年3月21日(土)～3月22日(日)

### 2019 年度年次ミーティング開催責任者

マネージャー 伊井 俊貴 (ACT Japan 理事/メンタルコンパス株式会社)

サブマネージャー 瀬口 篤史 (ACT Japan 理事/犬山病院)

大会企画委員 井上和哉 (早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程)、久留宮由貴 (シカゴスクールオブプロフェッショナルサイコロジー)、斎藤順一 (早稲田大学総合研究機構)、嶋大樹 (同志社大学心理学部)、首藤祐介 (広島国際大学)、林幹浩 (株式会社ビスメド)、本田暉 (医療法人和心会 あらたまこころのクリニック)、柳澤博紀 (犬山病院)、渡辺孝文 (名古屋市立大学大学院医学研究科 精神・認知・行動医学分野) (五十音順、敬称略)

### 【テーマ】「プロセスに基づいた CBT」

2017年 Acceptance & Commitment Therapy (ACT)の創始者 Steven C Hayes 博士と第2世代認知行動療法における不安障害研究の第一人者 Stefan G Hofmann 博士がメンタルヘルス分野で世界最高のインパクトファクターを持つ World Psychiatry に“The third wave of cognitive behavioral therapy and the rise of process based care”という論文を発表しました。この論文で提唱された概念が、エビデンスに基づく治療からプロセスに基づく治療への転換です。翌年このコンセプトを Process-Based CBT(PBCBT)として出版しました。

従来のエビデンスに基づく治療に対する正しい問いは、「不安障害に対して CBT は効果があるか?」「発達障害に対して応用行動分析は効果があるか?」など「どの治療法を、どういう人が行えば、これこれといった特定の問題を抱えた、これこれの人に、最も効果的なのか?またそれは、どの条件のもとで、どのようにして効果を及ぼすか?」です。

一方でプロセスに基づいた介入における効果的な問いは「この目標とこの状況で、このクライアントのどのような生物学的・心理社会的コアプロセスに照準を定めるべきなのか、そしてどうすればそれらコアプロセスを最も十分かつ効果的に変化させることができるだろうか?」です。例えば、学校に行きたくない高校生が不登校になっていて、価値を重視した介入を行えば心理的柔軟性が高まり、学校に行かずに自分がやりたい仕事に就くという望む変化を起こせるか?ということが、答えるべき効果的な問いとなります。

2人は認知行動療法の未来について尋ねられた時、ブランド名の「アルファベットスープ」ACT、CBT、ABAから抜け出して、どうすれば人々が変化して、更に繁栄するかについての方法について体験的に理解してもらうため、「壁よりも橋を作ること」と話しています。今回 ACT Japan 年次ミーティングのテーマを PBCBT と設定することで、我々 ACT Japan が post CBT future CBT の時代においてどういう機能を果たすことができるか、広く議論することを目的としたいと思います。

### 【場所】

会場：名古屋市立大学 桜山（川澄）キャンパス さくら講堂（名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1）

桜山駅徒歩1分 <https://www.nagoya-cu.ac.jp/access/sakurayama.html>

### 【参加条件】

「ACT Japan の会員、あるいは心理関連領域の専門職および大学院生(2020 年度入学予定者も可)、および本会活動に関心のある方」

※ 今回のミーティングでは事例報告があります。守秘義務のある資格(臨床心理士,公認心理師,医師等)を持たない方には,個人情報保護誓約書を当日受付で記入していただきます。

### 【参加費】

年次ミーティング参加費

一般 会員 4,000 円

一般 非会員 7,000 円

大学院生(会員非会員を問わず) 2,000 円

懇親会費（会員非会員を問わず）

一般 5,000 円 大学院生 3,000 円

※いずれも当日会場にてお納めください。できるだけ、お釣りがないようにお願いします。

※なお、ACT Japan への入会申込みは、随時、ホームページから受付けておりますが、入会は理事会での審議にて決定されます。次回の理事会は1月末を予定しております。3月の年次ミーティング開催時に、会員扱いとなるのは、次回（1月末）の理事会にて入会が承認された方まで、が対象となります。

### 【その他お知らせ】

- ・インターネットに接続する設備はございません。ご自身で通信環境をご用意下さい。
- ・発表者に関しては1月中旬に募集開始する予定です。

### 【参加申込の方法】

- 参加はすべて事前の申し込みが必要です。
- 2020 年 2 月 28 日(金)までに必ずお申し込みください。
- 参加申し込みはこちら (<https://forms.gle/vx1xW43yfGm9NyiR8>)にてお願いします。

※2020年3月20日(金・祝日)には、ハワイ大学の増田先生によるプレミーティングワークショップが開催されます(メンタルコンパス株式会社主催、ACT Japan 共催)。

13:00~受付開始、13:30~16:00 <入門>:「Acceptance & Commitment Therapy」

詳しくは、別途案内をご確認ください。

### **1日目 2020年3月21日(土) 場所: 名古屋市立大学 さくら講堂**

9:30~ 受付

9:30~10:00 30分でわかる PBCBT とは?

10:10~12:00 <事例発表>ACT 初心者向けの企画 座長: 嶋大樹

12:00~13:00 休憩

13:00~16:30 <ワークショップ>行動を継続的に測定して臨床のプロセスを重視する

講師: 瀬口篤史、柳澤博紀、齋藤順一

16:45~17:45 ポスターセッション

18:00~20:00 懇親会

### **2日目 2020年3月22日(日) 場所: 名古屋市立大学 さくら講堂**

9:30~ 受付

9:30~10:00 総会

10:10~12:00 職域でACTを活かす 座長: 林幹浩

12:00~13:00 休憩

13:00~14:30 <大会企画シンポジウム①> 座長: 井上和哉

日本のACTとRFT研究の最前線—世界に追いつくために出来ること—

14:40~16:20 <大会企画シンポジウム②> 座長: 伊井俊貴

アルファベットスープから架け橋を

16:20~16:30 閉会

※会の運営に当たっては極力準備作業の軽減を図っております。予めご了承ください。